

ゴーゴーチャレンジ



第31号

広島発 オンデマンド企画プロジェクトチーム主催

フィールドワーク **ヒロシマの**

碑・樹木・建物から感じる平和

講師 生協ひろしまツアーボランティア新谷美樹子さん 平和公園内
広島教育研究所 理事 高橋信雄さん 広島城、比治山、宇品

4/29

参加者22名

速報!

午前は平和公園周辺を中心。午後は「被害者のヒロシマ」ではなく、「加害者のヒロシマ」に視点をおいたフィールドワークでした。日本軍は鉄道が広島まで来ていること、港があることでそれをつなぐ宇品線をつくり(今の宇品線ではない)戦地へむかう格好の場所としました。戦争に必要な兵士も物資も広島から出ていたそうです。戦争の作戦、指令もこの広島から発信されていた時代がある。兵站基地、軍都広島を実感。



僕たちが案内します



●大本営跡・広島城のここに日本軍の最高機関の建物があったのです。

●比治山から軍港を見る。全国から来た物資や兵士を戦地に船で運搬するために作られた宇品線。宇品港。被服支廠(軍服を作り保存する所)もはっきり見えました。(陸軍墓地より)



●宇品の軍港跡。ここから戦地に行きました。岸壁が残っており、後ろにおしゃれな「アクタス」が見える。そんな場所です。

➡感想・戦争時の広島
島の街、港としての役割。原爆とはどのような非人道性を持った爆弾だったのかなど、知らなかったことをわかりやすく教えていただきとても心に残りました。次の機会があればまた参加したいです。

➡感想・普段知っている
場所に戦争の歴史があることを学びました。原爆ドームから学ぶ戦争の悲惨な歴史と兵站基地としてアジアに進出していく唯一の玄関だった加担側としての一面。戦争をした日本をもっと多面的に知らないといけないなど思います。



●平和公園内には韓国人の慰霊碑もあります。



*プロジェクトチームは、この学習を基にオンデマンド企画を練っております! お楽しみに! 